

8/29 福井

武藤議員「辞職せず」

金銭トラブル報道否定

未公開株をめぐる知人との金銭トラブルが報じられ、自民党を離党した武藤貴也衆院議員（滋賀4区）が26日、国会内で記者会見し「辞職につながる法的な問題はない。現実



武藤議員＝26日午後、国会見聞記者会見

時点では議員辞職は考えていない」と述べた。金銭トラブルをめぐる週刊文春の報道については「私が法律違反をして資金をいるんな方から集めた事実はない。知人の判断だ」と否定した。

会見で武藤氏は資金集めに「国会議員枠」を持ち出したとされることに「議員枠が存在していたという認識はなかった。言葉が独り歩きしており、事実と異なる」と強調。一方、無料通信アプリLINE（ライン）による知人とのやりとりで誤解を招くような表現があったとし「言葉が乱雑で反省している」とした。安全保障関連法案審議への影響などを離党理由に挙げ「党に迷惑を掛けられない」と語った。武藤氏によると、知人に事業資金として2012年から数年の間に計約1億円を預けていたが返金されなかった。武藤氏は昨年10月に秘書の

関係者から「得意先向けの特別枠がある」とする株の話を聞いたため、知人に株の購入を提案。知人の指示を受けた出資者が秘書の口座に振り込んだ。しかし、株は購入できず、すでに出資者全員に返金したという。武藤氏はトラブル発覚直後の今月19日に離党届を自民党に提出し、受理されたが、与野党から辞職論や衆院政治倫理審査会での説明を求める声が出ている。週刊文春によると、武藤氏は昨年、知人に「国会議員枠で買える」と、ソフトウェア会社の未公開株の購入を持ち掛けた。23人が応じ計約4千万円を武藤氏の政策秘書の口座に振り込んだが、実際には

株は購入されず、出資金の一部は戻っていないという。